

高校レベルの実験挑戦

芦原・金津中生 中高一貫教育で

連携型中高一貫教育を
行っているあわら市の金
津高は18日、芦原中と金

津中の3年生を対象に、
坂井市の県教育総合研究
所で学習会を開いた。両
中学の計34人が、同高教
諭と高校レベルの実験や
演習に取り組んだ。

同高が昨年度から両中
学の中高一貫クラス3
年生を対象に開いてい
る。この日は物理、化学、
生物、数学に分かれて行
った。

生物では、ゾウリムシ
の構造について実験を通
して考察した。生徒はゾ
ウリムシの体外に余分な
水分を排出する働きをす
る「収縮胞」の動きを顕
微鏡で観察した。

光永龍成さん(芦原中)
は「生物に詳しくなりた



ゾウリムシを顕微鏡で観察する生徒＝
18日、坂井市の県教育総合研究所

い。ほかの生徒の意見も
聞いて知識を深めたい」
と意欲的に取り組んでい
た。

化学では、しょうゆに
含まれる塩を取り出した
ほか、物理は簡易気圧計
を製作するなどした。

金津高の小幡浩一教務
主任は「自ら課題を見つ
け、協力して解くことで、
さらに知識を深めてもら

いたい」と意義を話した。
(増田智佳子)